



輝かしい年頭にあたり

皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

本年もよろしくお願いたします。



新年 あけましておめでとうございます

昨年の「今年の漢字」は**安**に決定しております。昨年は確かに、「安倍首相」の**安**、「安心して下さい、はいてますよ、安村です」の**安**、「安保法案」の**安**など多くの**安**がありました。それでも、選ばれた最大の理由は、世の中が「安保法案の成立」や、「テロ」を含めた忌まわしい多くの事件があり、世の中に不安が満ち溢れていたためであるといわれております。

さて、済生会神奈川県病院においては、本年よりこの度竣工した新棟（西館）を使用いたします。西館は当院の本館として丁度 50 年間使用していた棟を半分解体して、その跡地に建てられたものです。今後は本館の残り半分の解体と当院の玄関部分と駐車場の整備に約 10 ヶ月を要するので、グランドオープンの式典等は来年を予定しております。

本館は 1965 年に当院が神奈川県交通救急センターを受託するとともに竣工した建物ですが、そこにはこの 50 年間に当院が地域の皆さまに救急医療を含む高質の医療を提供してきた歴史が刻まれており、本館の解体と西館の新築は私どもにとっては感慨深いものであります。

西館の主な医療機能は、外来部門と検査・画像診断センター、予防医療センター、そして、緩和ケア病棟ですが、この西館の機能を十二分に活用して、今後はさらに「安心・安全で質の高い医療」の提供を職員全員で努め、地域の皆さまに満足して頂ける病院となるべく努力いたしますので、宜しくお願申し上げます。



院長 吉井 宏





診療部長
原 一

あけましておめでとうございます。
本年はいよいよ新棟がオープンしハード的には機能が充実します。外観や新しい設備を目の当たりにすると、当院の目標である地域包括ケアシステムの中核を担える医療機関に少しずつ近づいている印象さえ受けます。しかしそのためには現在、当院の特徴である回復期病棟を含むリハビリ機能に加えて、東部病院や周辺の医療機関・在宅医療との連携をより緊密にしながら、一部急性期医療への取り組みもこれまで以上に必要になると考えています。今後はハード面に加えてスタッフの数・質の一層の向上や体制の整備などソフト面でのレベルアップをめざさなければなりません。本年もご指導・ご鞭撻につき宜しくお願いいたします。



あけましておめでとうございます。平素より当院へのご理解、ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。また、昨年からはじめました新棟建設工事では、患者様はじめご家族の皆様、来院して下さる皆様に多大なるご迷惑をおかけいたしました。

これから新棟オープンに伴い、当院の診療も徐々に拡大してゆきます。住民の皆様に必要な医療を安心してお受けいただけるよう、これまで以上に患者様に目を向け、声を聴き、看護を提供してまいりたいと思います。

予防医療から入院治療、リハビリテーション、そして在宅まで地域の皆様に頼っていただける病院となるため、看護部はそれぞれの部署で役割を担っていきたく思っております。

新棟グランドオープンに向けてまだまだ皆様へご迷惑をおかけいたしますが、今年もよろしくお願いいたします。



看護部長
藤原 佐和子



事務部長
伊丹 基光

患者様並びに病院をご利用の皆様、明けましておめでとうございます。日頃より当院をご利用いただき、誠にありがとうございます。

さて、待ちに待った新棟も年末に工事業者より引き渡しを受け、1月25日からのオープンに向け、受け入れ準備を急ピッチで進めております。新棟には外来ブース・手術室・予防医療センター等を拡充し、検査機器・放射線機器等の増設も図りました。また、6階には緩和ケア病棟を新設し、病院全体の病床数も197床となります。しかし、病院の工事は更に続き新棟（JR側の建物）の改修工事、連絡通路の新設および本館半分の取り壊しなどの工事を行い、来年春にはすべて終了いたします。工事に伴い患者様にはご不便等をお掛け致しますが、ご理解、ご協力をお願い致します。

